



筆者（61歳）。マルヨ農園の園主



草生栽培のゆら早生

土壌が健全なら
完熟させられる

旨みのあるミカンをつくるためのポイントとは完熟です。通常栽培は年内に収穫を終えるところがほとんどですが、私は1月も収穫しています。収穫を遅らせて完熟になったミカンは栄養成分も増え、旨みが出てきます。

ただし、収穫を遅らせると果皮障害が出やすくなるという方もいます。たしかに、果梗部分が傷んで、そこから腐ってしまうこともあります。こういった症状は、果実の数に対する新根の発生が少ないことや、樹勢の低下により養分吸収が少なくなった樹に多く、元気な若木には少ないです。肥料分をやりすぎた場合にも起こります。

元気な細根を多く出すにはせん定の

が、汚れが気になって売れないミカンは、ほとんどありません。

成分の豊富な果実はできません。つまり、せん定だけではなく土壌環境が大きく影響してくるのです。

樹の栄養状態や土壌環境がよければ、収穫が遅くとも果皮障害は起こりにくくなります。土壌が健全なら、肥料の多少にかかわらず土に肥料分の緩衝作用があり、水分の過不足があっても樹や果実への影響が少なくなるからです。

養分も効率よく吸収される

私が考える健全な土壌とは、団粒化してフカフカで、多様な微生物がいる状態です。この状態ならば、ミカンに必要な養分を効率よく吸収させることができます。栽培用に選抜された品種は、自然の樹や草と違って、肥料分を与えないと健全な樹も果実もできません。しかし、除草剤を連用して固まった土壌では養分があっても、樹がそれ

草生栽培をしているミカン園



新連載

ミカンは

草でうまくなる

草生栽培で
完熟まで待てる
ミカンになる

和歌山・岩本 治

除草剤なしのミカン栽培

2・1 haで温州ミカンを中心に、不知火やはるか、春峰、レモンなど50種ほどを栽培しています。多くは市場出荷ですが、小売店への直売、ネット販売などもしています。ネットでの温州ミカンのキロ単価は、送料などを含めないで最大1300円程度です。

目指しているのは、糖度は同じでも旨みを実感でき、食べたお客さんが健康になるようなミカンづくりです。私自身も生涯現役で働けるように「高齢化」を大きなテーマとし、歳をとっても続けられる栽培を追求しています。

いろいろと試行錯誤の末、現在は草生栽培で農薬をできるだけ使用しないことを基本としています。除草剤は、10年以上まったく使っていません。無農薬の園地は1カ所、他は農薬を6〜7割にカットした特別栽培で、農薬

オナー スナイマー

水やりを
自動化しませんか？
「楽」になりますよ！
ピンの時刻から毎日決まった量の
水やりをします。



このセットで自動水やりを行います！
まずはお問い合わせ下さい。

スナオ電気株式会社

〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町1495
TEL (053)421-2281 (代表) FAX (053)422-0988

詳しくはWebで！！

スナオ電気

検索

販売店・取扱店募集！



ヒメイワダレソウの花と
ミツバチ

した。そのなかで、感じたことを右ページにまとめました。草によつてはデメリットの多くが発生しますが、それが少ない草であれば、草生栽培のハードルがぐっと下がると思います。

人の手が入った自然がいい
長年、除草剤なしで草生栽培をしています。「自然のままが一番」というつもりはありません。「森や林よりも、人が介入した里山のほうが生物環

試してきた草のなかで、今はヒメイワダレソウが一番ではないかと考えています。石ころが多く条件の悪い園地を含めた3園地でしっかりと根付き、デメリットをすべてクリアする結果が出ているからです。異常気象が異常でなくなってきた昨今にも、ヒメイワダレソウは耐えうると考えています。

堆肥は豊かになる」という話を専門家に聞きました。自然環境の助けも借りながら、どうしようもないときには農薬や忌避剤も必要だと思っています。温暖化が進み、新種のチャノキイロアザミウマなどの病害虫が増えているなかで、目的であるミカンをつくれないう話になりません。草を生やし活かすことで土がフカフカで微生物が殖え、病害虫の被害果が減り、農薬・除草剤の経費が減ります。日々観察を続けてわかってきたことを、今後の連載で紹介していきます。

(和歌山県海南市)

草生栽培のデメリット

- 草刈りが大変
- 樹に絡みつく
- ミカンの樹と草が養分競合してしまう
- イノシシ、ヘビ、モグラなどが増える
- 足元が濡れて滑りやすい
- 畑の見た目が悪い
- 毎年植えつけるのが大変(長い丈の草の場合)
- 果実にスレ傷ができる
- ミカンの樹が日照不足になる

草生栽培のメリット

- 除草剤がいらない
- 土や肥料分が流亡しにくい
- 土壌生物や微生物が多くなるので肥料の効きがよくなる
- 病害虫の天敵の住処になる
- 地温上昇を防げる
- 草の根が枯れることで土壌に空気が入るのでフカフカになる
- 環境保全など販売面でのアピールができる

を効率よく使えませんか。
土を団粒化させ微生物を殖やすためには堆肥がいいのですが、傾斜地や段々畑では運び込むのが大変です。高齢になった農家はもちろん、退職してから農家にはもっとときつい。そこで、草を利用してみてはどうかと考えたわけです。

イチオシは ヒメイワダレソウ

草生栽培をする上草の根のまわりには

除草剤を使わなくなって
ミカン園で見られるように
なった動物たち



イネ科雑草に巣を作ったカヤネズミ



ミカンの樹にいるウグイス

どちらもミカンは食べないので被害はない

微生物が殖えます。その微生物は果実の味に重要なリン酸を、ミカンの根が吸える形に変えてくれます。草の根のおかげで肥料分が流亡しないので費用対効果が大きくなり、異常気象でも樹へのストレスを軽減できます。草の花が咲いてミツバチが飛びミカン畑がでるので、流行りのSNSに上げたときの印象もいいのではないのでしょうか。私はこれまで、ミカン畑に15種の草を植えたり、自然に生えてきた草をそのまま生やしたりして経過を見ています。